

Title	エステティシヤンの組織コミットメントの向上に関する考察
Sub Title	
Author	金田, 有加(Kanada, Yuka) 坂下, 玄哲(Sakashita, Mototaka)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2016
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2016年度経営学 第3146号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002016-3146

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程
学位論文（ 2016 年度）

論文題名

エステティシヤンの組織コミットメントの向上に関する考察

主 査	坂下 玄哲 准教授
副 査	大藪 毅 専任講師
副 査	後藤 励 准教授
副 査	

氏 名	金田 有加
-----	-------

論文要旨

所属ゼミ	坂下 研究会	氏名	金田 有加
(論文題名) エステティシヤンの組織コミットメントの向上に関する考察			
(内容の要旨) エステティックビジネスの市場は供給過多状態にあり、価格競争が激化した結果、経営を圧迫している。エステティック企業を取り巻く競争激化もさることながら、企業内部における問題、とりわけ人手不足はこれまで以上に深刻なものとなっている。新人のエステティシヤンは1年以内に30%が、3年以内に60%が離職してしまう。若手が定着せず、次々に入れ替わる現状は経営上も大きな問題であり、業界全体としても不健全な状態と言える。 若手の離職理由は、憧れと現実とのギャップや、営業に対する抵抗感が大部分を占めると考えられる。またこれ以外にも、人間関係や低賃金によるものも予想される。それでも、エステティシヤンは独立しやすい職業であることから、以前は独立を目標にモチベーションを維持できていた。しかしながら、小規模サロンの経営が難しくなっている近年の状況においては、若いエステティシヤンが早々に離職や転職をしてしまうことが不可避となっている。 エステティックサロンにとって、この離職率の高さは重大な問題をもたらす。すなわち、エステティシヤンの入れ替わりが激しいままではサービス品質が安定せず、顧客満足も向上しないため、収益が低迷してしまうのである。そのため、エステティシヤンの離職問題などに対応できるような優れた人材マネジメントが必要であると考えられる。 こうした問題を受け、本研究は、従業員定着率の向上を目的とし、組織コミットメントに着目したインタビュー調査を行った。分析結果から、知覚された組織支援の向上と、役割曖昧性の低下が、組織コミットメントの向上に寄与する可能性が明らかとなった。 また、より実務的な示唆を得るために、実在する大手エステティック企業の従業員を対象とした、従業員の社内研修に関する質問票調査を実施した。その結果、知覚された組織からの支援が高いグループと低いグループ、役割曖昧性が高いグループと低いグループでは、必要としている研修の内容に差があることが明らかになった。 本研究がもたらしと意義としては、理論的には、既存研究の枠組を、エステティシヤンという文脈に拡張することで、理論の外的妥当性を高めている点が挙げられる。実務的には、自社企業におけるエステティシヤンの定着率に対する意識改革、研修内容への応用の2点が挙げられる。最後に研究の限界と展望についてまとめた。			